

社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク 2020 年度 事業計画書(案)

<実施期間>

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

<2020 年度の方針>

2008 年の設立以来、13 年目を迎える本年度は、国内において SDGs への関心が高まった半面、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京オリンピック・パラリンピックも開催が延期されるなど社会的に大きな影響を与えつつあります。また、大阪万博の開催に向けた準備が着手されるタイミングであることから、SDGs の達成や持続可能な成長の実現に向けた本質的な取り組みを促すために、多様な主体による連携を、特に地域において推進できるよう、働きかけます。

(1)NPO/NGO が自ら取り組む社会的責任(以下、SR)の普及

NPO/NGO が自らの組織で取り組む SR を推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

(2)他セクターとの協働による SR の普及

さまざまなセクターと連携して SR への取り組みを促進するべく、NPO/NGO の取り組みや成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターの SR への取り組みを促す NPO/NGO を育成・支援する。

(3)社会的影響力の大きな課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー(政策提言)の強化

SDGs やオリンピック・パラリンピック 2020 東京大会をはじめとする社会的影響力の大きな課題に対して、マルチステークホルダープロセスにより社会的責任が果たされることに尽力するとともに、その課題の重要性、具体策を提言するとともに、地球環境や貧困などの国際的な課題へのアプローチにおいても SR への配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たすことの必要性を訴える。

上記方針を実現することを目的としつつ、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する必要があることから、下記のプロジェクトを中心として、フォーラムやセミナーなどの開催は半年間程度見送るとともに、財政的にも、今年度の会費徴収については見合わせることにする。

<2020 年度の事業計画>

(1)社会責任に関連する規格の策定・普及

(主担当幹事団体：難民を助ける会。ただし主担当幹事団体は今期の幹事選任後の予定。以下同)

1.「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」の NGO メンバーとして、NN ネット代表協議者(堀江)が参加する。

2.ISO26000 の発行から 10 年を迎えるにあたり、これまでを振り返るとともに、今後 ISO26000 に求められる役割やさらなる活用に向けてなどを考えるセミナーを開催する(11 月 10 日開催予定)。

3.SGN を日本国内でフォローアップし、国内で他のステークホルダー(SJN:ステークホルダー・ジャパン・ネ

ットワークメンバー)とともに ISO26000 の発行 10 周年を記念するイベントに参加する。また、11 月に北京で開催される SGN 主催の 10 周年イベントに参加する。

4.ハンドブック『これからの SR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わった NPO が読み解く ISO26000』を関連イベントにて積極的に販売、または配付をし、SR への取り組みを推進する。

(2)公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進(主担当幹事団体:IIHOE)

1. 地方自治体に対して、公共調達への社会責任・持続可能性の導入について、東京オリンピック・パラリンピックの調達コードのレガシーとしての意味も絡めて、地域の会員団体等とともに働きかけを行う。東京および東京以外の地域でそれぞれ本テーマに関するセミナー等を開催する。2020 年 3 月開催予定のセミナーを、今年度に延期して開催する。

2. 中央省庁等による公共調達への社会的責任・持続可能性の導入調査については引き続き検討する。

(3)NPO/NGOの社会責任(NSR)への取り組み推進(主担当幹事団体:NPOサポートセンター、IIHOE)

1. NPO/NGOの社会責任(NSR)に関する啓発

NPO/NGOが社会的な信頼を獲得し、他セクターと協働して社会的課題を解決していくために必須である NPO/NGO自身の社会責任への取り組みの必要性や実践事例、調査結果の共有などを通じて啓発する。東京および東京以外の地域でそれぞれ本テーマに関するセミナー等を開催する。

(4)SDGsと社会的責任(主担当幹事団体:難民を助ける会)

1. 「地域における多様な主体によるSR推進プロジェクト」として、「多様な主体の協働で進めるSDGs」「マルチステークホルダー連携」などのテーマでのセミナーや事例共有会等の開催をNNネットの地域会員団体、および関係する団体に対して呼びかけ、地域で本テーマに関するセミナー等を開催する。

2020年度組織運営(事務局業務)計画

<実施期間>

2020年4月1日～2021年3月31日

<業務計画>

現在未確定の項目については、次期新任の幹事とともに協議し、追って決定する。

1. 会議等の開催

(1)第13回 通常総会の開催

日時:2020年5月26日(火) 13:00～14:30

会場:オンライン開催

議題:

- ・2019年度事業報告・決算の承認
- ・2020年度事業計画・予算の承認
- ・NNネットからの代表協議者の選出について
- ・2020-2021年度 幹事団体の選出
- ・2020年度 監事の選出
- ・その他

(2)幹事会の開催

- ・第130回幹事会 4月14日(火)14:30-16:00 @オンライン開催
- ・第131回幹事会 5月26日(火)12:00-16:30 @オンライン開催(総会を含む)
- ・第132回幹事会 7月14日(火)14:30-16:00 @
- ・第133回幹事会 9月15日(火)14:30-16:00 @地球環境パートナーシッププラザ(仮)
- ・第134回幹事会 11月10日(火)14:30-16:00 @地球環境パートナーシッププラザ(仮)
- ・第135回幹事会 2021年1月12日(火)14:30-16:00@地球環境パートナーシッププラザ(仮)
- ・第136回幹事会 2月9日(火)14:30-16:00 @地球環境パートナーシッププラザ(仮)
- ・第137回幹事会 3月9日(火)14:30-16:00 @地球環境パートナーシッププラザ(仮)

2. 会員管理(担当:未定)

(1)会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会等に伴う業務
- ・会員メーリングリストの運営と管理
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事概要を配信

(2)会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理

(3)会費請求

- ・会員に対して会費の請求書を作成・送付
(総会後速やかに送付予定)

3. 会計(担当:NPO サポートセンター)

(1)日常的な会計

・円滑な業務執行を行うために、現金等の支払い・精算ルールを策定し、それを明文化して記録、資金の動きを明確にする。

(2)資金管理と検査

- ・現預金などの日常の管理状況を検査する業務を行う。
- ・決算書の作成を行い、報告する。
- ・監事による監査を行う。

4. 広報(担当:未定)

(1)ウェブサイト管理・運営に関する業務

- ・ウェブサイトの管理・運営を行う。
- ・外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応する。

5. 在庫管理(担当:難民を助ける会)

(1)ハンドブックの在庫管理

- ・『これからの SR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わった NPO が読み解く ISO26000』の在庫の管理を行う。

6. 幹事会および総会準備に係る事務(担当:IIHOE)

(1)幹事会開催準備、報告

- ・幹事会開催の日程調整等

(2020 年度の幹事会議事次第作成は持ち回りの議長団体が担当し、議事録作成も持ち回りで担当)

(2)総会開催準備

- ・総会開催にかかる準備、資料作成等

以上